

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第38週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が4,020例あり、先週(5,593例)の約0.7倍となった。2022年の累積報告数は187,810例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

全数報告の感染症(38週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：報告なし。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例。
4 類感染症：日本紅斑熱 1 例。5 類感染症：梅毒 4 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	70歳代	女	—	腹痛、血便、O血清群不明(VT2)
		都城	0~4歳	男	—	腹痛、水様性下痢、血便、発熱、O血清群不明(VT型不明)
4類	日本紅斑熱	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常、倦怠感
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
			60歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		延岡	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹

《前週との比較》

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は234人(定点当たり6.6)で、前週比91%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

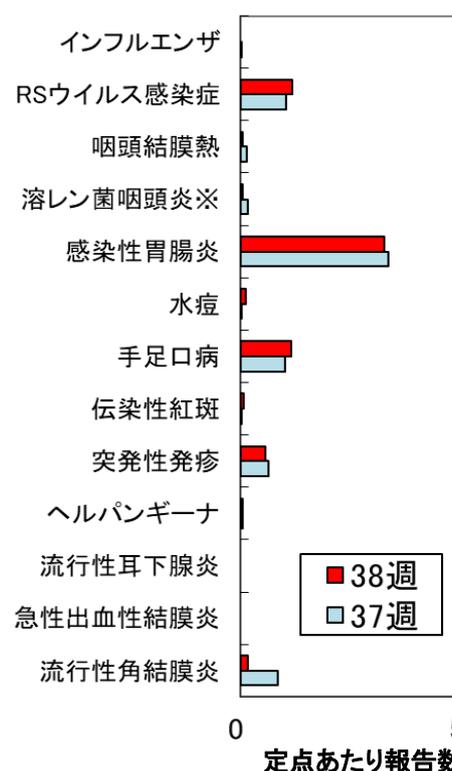
【RSウイルス感染症】

報告数は42人(1.2)で、前週比114%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.5)の約0.3倍であった。中央(8.0)、小林(3.3)、宮崎市(1.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は3歳以下が全体の約9割を占めた。

【感染性胃腸炎】

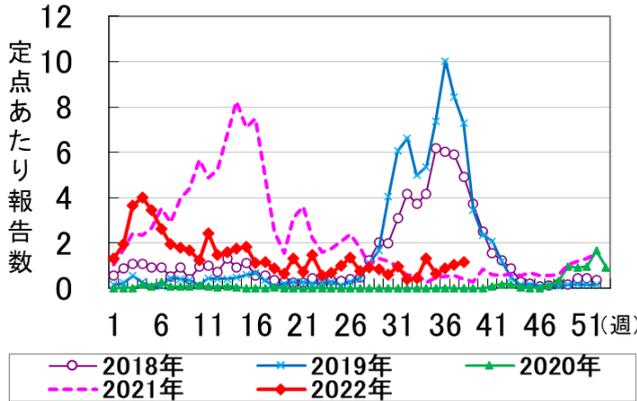
報告数は117人(3.3)で、前週比98%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(5.5)の約0.6倍であった。中央(9.0)、日向(6.5)、小林(4.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

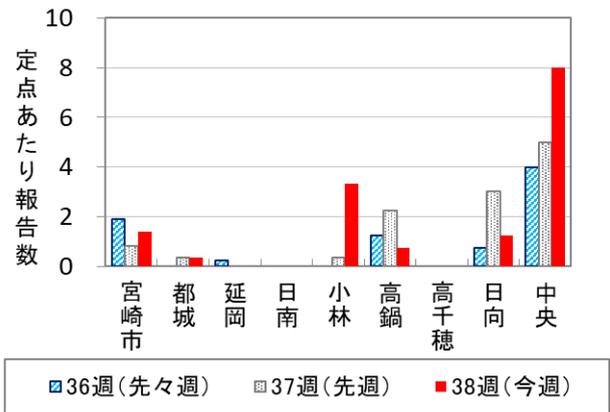


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

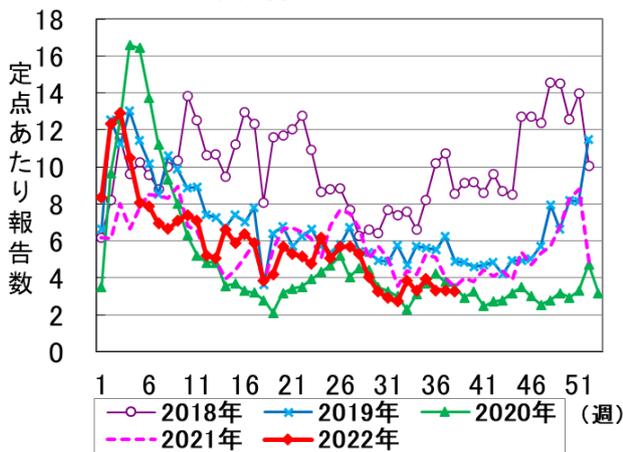
RSウイルス感染症 発生状況



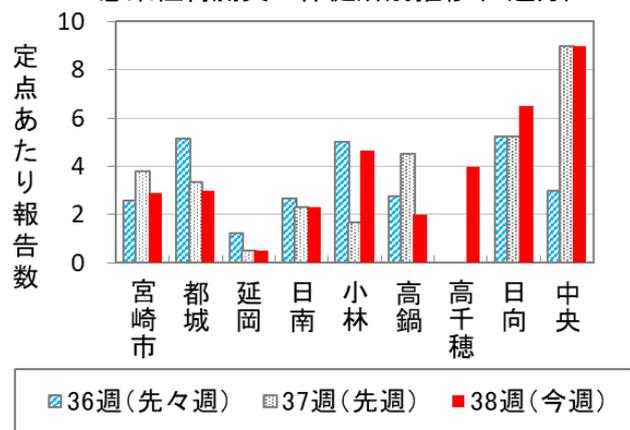
RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年9月26日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EHEC(O103:H2 VT1)	0～4歳	女	2022.08.29	発熱(37.7℃)、胃腸炎(下痢、嘔吐、腹痛)	便	2022.09.13
EPEC(OUT:H40)	0～4歳	男	2022.09.06	胃腸炎(水様性下痢)	便	2022.09.16
EHEC(O103:H2 VT1)	5～9歳	女	2022.09.05	胃腸炎(下痢、腹痛)、陽性者の家族	便	2022.09.21

0～4歳の乳幼児及び5～9歳の児童から腸管出血性大腸菌（EHEC O103:H2 VT1）が検出された。腸管出血性大腸菌は経口感染し、少ない菌量でも家族や保育園等の集団で感染が広がることもあるため、食材の加熱、調理器具の消毒、手洗い等を徹底する必要がある。腸管出血性大腸菌による感染症は夏季に増加する傾向にあるが、例年秋から冬にかけても発生しており今後も注意が必要である。

★ウイルス なし

✚ 全国 2022 年第 37 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	213 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	105 例				
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	デング熱	2 例	日本紅斑熱	18 例	マラリア	2 例
	レジオネラ症	73 例	レプトスピラ症	2 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	34 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例	後天性免疫不全症候群	5 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	9 例	水痘(入院例)	6 例	梅毒	144 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	6 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 96%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱と水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザ、手足口病及びヘルパンギーナであった。

咽頭結膜熱の報告数は 206 人(0.07)で前週比 117%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.30)の約 0.2 倍であった。沖縄県(0.21)、島根県、広島県、徳島県(0.17)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 7 割を占めた。

手足口病の報告数は 10,648 人(3.4)で前週比 91%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.7)の約 2.1 倍であった。山形県(13.7)、宮城県(11.0)、福島県(6.8)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第38週(09月19日～09月25日)

疾病名		第37週	第38週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	37	42	14	2			10	3		5	8
	定点当り	1.03	1.17	1.40	0.33	0.00	0.00	3.33	0.75	0.00	1.25	8.00
咽頭結膜熱	報告数	5	2						2			
	定点当り	0.14	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	6	2	1			1					
	定点当り	0.17	0.06	0.10	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	120	117	29	18	2	7	14	8	4	26	9
	定点当り	3.33	3.25	2.90	3.00	0.50	2.33	4.67	2.00	4.00	6.50	9.00
水痘	報告数	1	4	1	2						1	
	定点当り	0.03	0.11	0.10	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	36	41	28	9			1				3
	定点当り	1.00	1.14	2.80	1.50	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	3.00
伝染性紅斑	報告数	1	3	1	2							
	定点当り	0.03	0.08	0.10	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	23	20	10	2	2	1	2	2		1	
	定点当り	0.64	0.56	1.00	0.33	0.50	0.33	0.67	0.50	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	2		1	1						
	定点当り	0.06	0.06	0.00	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5	1			1						
	定点当り	0.83	0.17	0.00	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～38週)

2類感染症	結核	84例		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	45例(2)		
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	9例
	日本紅斑熱	7例(1)	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	6例
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	8例	水痘(入院例)	3例
	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	4例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	187810例(4020)		
			つつが虫病	7例
			レプトスピラ症	3例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	6例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
			ジアルジア症	1例
			梅毒	72例(4)
			百日咳	13例

()内は今週届出分、再掲